

平成 25 年度 飯山市公民館運営協議会議事録

日時 平成 26 年 3 月 18 日 (火) Pm3:30～

場所 飯山市公民館 101 会議室

(出席者) 吉越委員、丸山委員、鈴木委員、吉田委員、湯本委員、澤木委員、岩松委員、
宮下委員、島津委員、岡田委員、吉野委員、田中委員、高澤委員

(欠席：高橋英委員、高橋進委員)

事務局：長瀬教育長、望月課長、服部公民館長、柳係長、常田主査

1. 開会

2. あいさつ

運営審議会長

少子高齢化が進み、社会教育が停滞していると言われている。幸いなことに飯山市は公民館活動が盛んなので救いだと考えている。1 番先頭に立って社会教育を進めていくのが公民館の役割。幅広い年齢層の社会教育の活動への参加に取り組んでもらいたい。

教育長

午前中に岡山小の卒業式、午後に飯山北高の探求科の発表を見てきたが、子どもたちが頑張っている。それだけに社会教育の役割も非常に大きなものとなっていると感じている。また、新年度は全県の公民館大会があるので、お力添えをいただければと思う。

公民館長

1 年間、地区館と連携しながら地域の素晴らしさをアピールしてきた。25 年度の大きな事業としては、瑞穂公民館と連携して小菅の松子、講演会では異文化に触れるといったような視点でインドの数学やヨルダンの文化、ローマ帝国などに触れる機会を作った。また、市民の皆さんのリクエストで写真教室も開催するなど、様々に取り組んだ。本日は来年度に向けてのご意見をいただければと思う。

3. 議事 (議長：会長)

(1) 平成 25 年度飯山市公民館事業実績報告について (事務局説明)

(委員) 予算は足りているのか

(事務局) 市が講演会の謝金等がある程度つけてくれている。

(委員) これだけの事業をこなしているのだから、成果を求めるといよりも、一つの目標に向かって事業を進めてほしい。もっと、型にはまらないような大きな事業をしてもらいたい。

(事務局) 来年は新幹線飯山駅開業や飯山城築城 450 年があるので、それに合わせたイベントをしていきたい。

(事務局) 2 年ほど前の公運審で地区館との共催を増やしたらとの意見をいただき、実施している。

(委員) 一緒にやることは大切。

(委員) 例えばかつて飯山城に降雪した外観が白馬の姿に似ているということで「白馬城」などと呼ばれたように、「白馬城」という名前のお城を作るとか、職員のジャンパーに「白馬城」の絵を入れたりして、外から来たお客さんに「白馬城」ってなんですかと聞かれたら「実際に無いですけど、夢です」。と言ったような受け答えができればいいと思う。

(委員) ビューポイントめぐりなどは、例えばインドの人ならインドの人が飯山を回って素晴らしいところを見つけてもらって、それを発信してもらいたい。いいところを外の人に見つけてもらい、街の発展に貢献できるような事業をしてもらいたい。

(委員) 新幹線、新幹線と騒いでいるが、開業してしまったら穴が開いたようになってしまうのではないかと心配している。開業後の企画を考えてもらいたい。中央橋市民見学会の企画はよかった。先ほどの意見にもあったように、白雪城を作るような心意気で事業に取り組んでほしい。

(委員) 地区館との共催はいい企画なので地区館との企画を続けてほしい。そして、地区館も大事にもらいたい。

(委員) 専門部員が自分の役割を全く認識していない人がいる。専門部員という機能がうまく動いていない。5 人と決められている専門部員の数を増やして、女性の数も増やすようにしてもらいたい。自覚してもらえるように指導してもらいたい。

(委員) 女性の専門部員がいてくれると、本当に助かる。

(委員) 他の地区で女性が専門部員をしているところがあるので、参考にやってほしい。

(委員) 「みんなのおもしろひろば」は、なぜこんなに多くの人が集まったのか。

(事務局) ロコミが大半だと思う。また、どこかに出かけるお金が家庭に無くなってきているのかもしれない。

(委員) 子供たちが集まる方法として、何か景品を出すといい。1 つの事業に最後までいってもらうには、子どもを残せば大人も残る。各団体にも声をかけて、協賛してもらうこともよい方法。あと、これだけ公民館で事業をやっていることを知らない人がまだいるので、PTA 連合会にも声をかけてほしいし、もっとみんなに声をかけていきたいと思う。

(議長) できるだけ多くの人を取り込んでもらいたいと思う。

(委員) これだけ事業を行っているが、どこかに掲示したりしているのか。

(事務局) 総合学習センターだよりで事業報告を掲載したり、総合学習センターフェスティバルで展示したりしている。

(委員) 過去に作った作品を展示したりして欲しい。公民館にすれば面白いものがあるという雰囲気を作ってほしい。

(委員) 女性セミナー、子育てセミナーを長年続けているのが凄い。こういうのを継続してほしい。地区館との連携だが、地区館と一緒に事業をすることでそれぞれの地区が元気になるし、元気にさせるのが公民館だと思う。地区館が元気になるように支援してほしい。

(委員) 専門部員を探すのが大変。専門部員は何をしていいかわからないのだと思う。それに対して何か行っているのか。

(事務局) きっかけづくりの意味も含めて、公民館役職員研修会や館報研修会をしている。

(委員) 各地区に情報が伝わっていない。私の地区は夏祭りを新幹線開業イベントと一緒にやったが、屋台の売上げが3倍に増えた。担当者が一生懸命やるとそれなりに成果が出ると思う。

(委員) 地域で子どもを育む、活性化させるツールに公民館を使ってほしい。実際に役員になって現場に入ると、現実が見える。市長や県知事や総理の名前を知らないお年寄りが地域に生きている。その人たちの望んでいることや需要を掘り起こしてもらいたい。教育長が午前中に来てもらった岡山小の卒業式であの人数しかいない。子供たちを巻き込んでと言っても、実際は厳しい現実がある。それでも、公民館がある以上は、心豊かな生活ができるように使用してほしいと思う。専門部員は住民に対して、開催するイベントの参加の声かけをしてもらいたい。そうすると人が集まる。人口が減ってきて厳しいが、声をかけて誘えば、お年寄りでも来てくれる。それが専門部員の役目だと思う。

(委員) イベントが多すぎて、他のイベントとの取り合いになっている。これだけのイベントをこなしているのだから、企画している方の体が心配。

(議長) 横の連携を取りながら、出来るだけ重ならないようにしてほしい。

(委員) 地区館との共催事業では、市内だけでなく東京からも参加があり、地区館でももっと何かが出来たのではないかと思った。外から来てもらえるような企画が出来ればと思う。講演会は著名な方をたくさん呼んでもらっていて、これは飯山市公民館でなければできない事。継続してほしいし、もっと多くの人が集まるように広報してほしい。

(委員) 中央公民館と地区館との温度差を感じる。連携を密にとってほしい。

(委員) 小菅の松子に関しては、多くの方に来ていただき、今までにない賑わいのなかで開催することが出来た。今、瑞穂で館長が考えているのは、地域に残しておきたい思いや、宝物を恥ずかしながら書き出してもらって、それを公民館が集約するという活動を行っている。それは子どもたちにもしっかりと伝えていかなければいけない財産だと思う。

(議長) いろいろな想いを各委員から発言してもらった。この思いを踏まえて活動してもらいたい。

(事務局) 呼びかけが大切。公民館と連携できる団体を探す。広報を工夫する。公民館での活動の中での成果の展示を工夫する。市外から来てもらえるような企画を考える。地域の宝を探って残すような努力も必要など、貴重な意見をいただいたので、係と地区館の主事との呼びかけをして、意見にかなうような取り組みをしていきたいと思う。

4. その他

皆さんの任期はあと 1 年あるので、変わることが無ければこのメンバーでよろしくお願ひしたい。

年度が開けてなるべく早い段階で公運審を開催したいと考えている。

5. 閉会